

2018年度の決算状況について

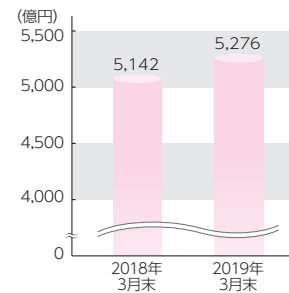
業績について

2018年度の当金庫の業績は、地域のお客さまからのご支援をいただいた結果、預金・貸出金ともに前年実績を上回りました。収益面では減益となりましたが、引き続き“うれしいこと、と一緒に。”を合言葉に地域の皆様から愛される「もりしん」を目指してまいります。

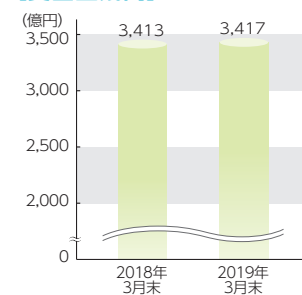
預金残高 **5,276** 億円

預金は、懸賞付定期預金「杜の都でっかい夢定期」等の企画商品がご好評をいただいたことなどから、個人預金が105億円増加し、前期比134億円増の5,276億円となりました。

【預金残高】



【貸出金残高】



貸出金残高 **3,417** 億円

貸出金は、事業者に対し迅速かつ安定的な資金の支援を行った結果、前期比4億円増の3,417億円となりました。

収益について

経常収益

7,715 百万円

経常利益

974 百万円

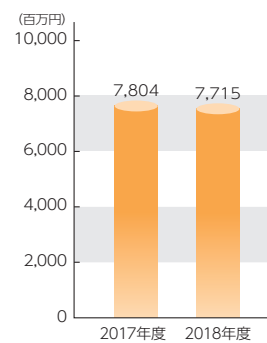
コア業務純益

1,743 百万円
(業務純益2,525百万円)

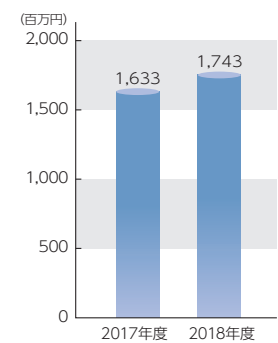
当期純利益

649 百万円

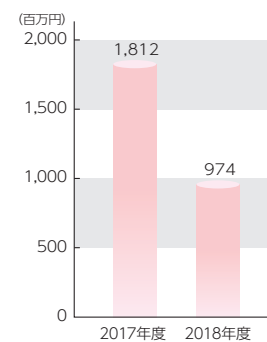
【経常収益】



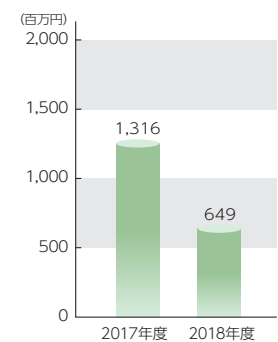
【コア業務純益】



【経常利益】

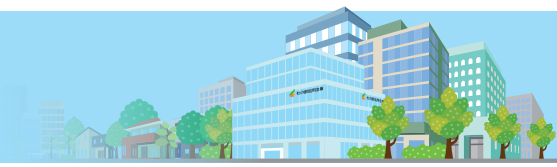


【当期純利益】



業務純益は、国債等債券売却益等の増加と経費の減少により前期比561百万円増加の2,525百万円、コア業務純益も109百万円増加の1,743百万円となりましたが、経常利益は、与信関係費用の増加により前期比838百万円減少し974百万円、当期純利益も667百万円減少し649百万円とそれぞれ減益となりました。

(注) コア業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益を除いて算出され、本来業務から得られる利益のことです。



業種別貸出金残高の内訳

- ① 不動産業
97,060百万円／28.40%
- ② 地方公共団体
76,018百万円／22.24%
- ③ 個人(住宅・消費・納税資金等)
64,214百万円／18.79%
- ④ 建設業
31,351百万円／9.17%
- ⑤ その他のサービス
17,969百万円／5.25%
- ⑥ 卸売業、小売業
17,941百万円／5.25%
- ⑦ 医療、福祉
7,106百万円／2.07%
- ⑧ 製造業
6,515百万円／1.90%
- ⑨ 飲食業
5,423百万円／1.58%
- ⑩ 金融業、保険業
4,015百万円／1.17%
- ⑪ 運輸業、郵便業
3,798百万円／1.11%

- ⑫ 農業、林業
2,470百万円／0.72%
- ⑬ 生活関連サービス業、娯楽業
2,225百万円／0.65%
- ⑭ 教育、学習支援業
1,578百万円／0.46%
- ⑮ 宿泊業
1,511百万円／0.44%
- ⑯ 物品賃貸業
938百万円／0.27%
- ⑰ 学術研究、専門・技術サービス業
648百万円／0.18%
- ⑱ 情報通信業
488百万円／0.14%
- ⑲ 漁業
405百万円／0.11%
- ⑳ 鉱業、採石業、砂利採取業
44百万円／0.01%

